

匿名他者への贈与と想像力の社会学：献血行為の社会学的研究

吉武, 由彩

<https://hdl.handle.net/2324/4474919>

出版情報：九州大学, 2020, 博士（人間環境学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

| | | | | |
|--------|-------------------------------|------|-----|------------|
| 氏名 | 吉武 由彩 | | | |
| 論文名 | 匿名他者への贈与と想像力の社会学——献血行為の社会学的研究 | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 高野 和良 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 安立 清史 |
| | 副査 | 九州大学 | 准教授 | 山下 亜紀子 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 三隅 一人（他専攻） |

論文審査の結果の要旨

本論文では、何が匿名他者への贈与を支えるのかという問いが、献血を事例として検証されている。対面的な行為であるボランティア行為研究が拡張され、匿名他者との連帯のあり方が追求されている。匿名関係にある担い手と受け手の関係性が「想像力」で媒介されるとし、実証的な分析が展開される。

本論文の特徴は、多回数献血者を対象として、先行研究で強調されてきた「受血者」（献血を受けた経験を持つ周囲の人）の存在が献血を促すという説明とは異なり、本論文では受血者不在の人々はなぜ献血をするのかという動機分析が行われ、「受血者不在の社会学」として、ボランティア行為の動機分析にも一石を投じている。

このように、本論文は、ボランティア行為研究に対して新たな視座と知見を与えており、さらに、献血者増を促すための知見も示され、社会的意義も評価できる。

よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。